

2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年8月10日

上場会社名 テモナ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3985 URL <https://temona.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐川 隼人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 重井 孝之 (TEL) 03-6635-6452
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の業績 (2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	1,809	15.7	369	279.8	369	274.0	229	312.0
2020年9月期第3四半期	1,563	41.8	97	△42.0	98	△33.4	55	△39.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	21.64	21.42
2020年9月期第3四半期	5.14	5.03

(注) 2020年9月期第3四半期は連結業績を公表しておりましたが、当第3四半期は非連結での業績発表としております。このため、前年同四半期については非連結での業績を比較情報として記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	2,156	1,299	60.0
2020年9月期	2,034	1,061	51.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 1,293百万円 2020年9月期 1,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—		
2021年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,814	22.3	412	148.0	407	147.2	248	158.1	23.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期3Q	11,373,592株	2020年9月期	11,256,048株
2021年9月期3Q	745,317株	2020年9月期	745,292株
2021年9月期3Q	10,592,110株	2020年9月期3Q	10,814,219株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(2020年9月期744,500株、2021年9月期3Q744,500株)を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理性であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年9月期第3四半期累計期間は連結業績を公表しておりますが、当第3四半期累計期間は非連結での業績発表としております。そのため、前年同四半期については非連結での業績を比較情報として記載しております。

なお、非連結での業績は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
売上高	1,563,911	100.0	1,809,444	100.0	245,533	15.7
売上原価	540,517	34.6	694,808	38.4	154,291	28.5
売上総利益	1,023,394	65.4	1,114,636	61.6	91,242	8.9
販売費及び一般管理費	926,131	59.2	745,274	41.2	△180,857	△19.5
営業利益	97,262	6.2	369,361	20.4	272,099	279.8
経常利益	98,738	6.3	369,295	20.4	270,556	274.0
四半期純利益	55,642	3.6	229,229	12.7	173,587	312.0

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が長引いており、一部ではワクチン接種の進展による回復への期待もみられるものの、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の事業に関連する国内電子商取引市場は、「令和2年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）」によりますと、2020年のBtoC-EC市場規模が前年比0.43%減の19.3兆円、BtoB-EC市場規模が前年比5.1%減の334.9兆円となりました。一方で、ECの普及率を示す指標であるEC化率（※1）は、BtoC-ECで8.08%、BtoB-ECで33.5%と増加傾向が続いており、商取引の電子化は引き続き進展していくものと見込まれます。そして近年では、人口減少などを背景に顧客の獲得コストが上がり続けており、クラウド型のビジネスを始めとしたサブスクリプションビジネスの需要が高まっております。

このような経営環境のもと、当社では「ビジネスと暮らしを“ともなく”（※2）する」という理念に基づき、ストック型のビジネスモデルをより普及させるべく、サブスクリプションビジネスに特化したBtoC事業者向けショッピングカートシステム「サブスクストア」の機能向上に注力してまいりました。また、「サブスクストア」や「たまごレポート」の顧客に対して提供する価値を拡大するべく、「サブスク後払い」や「テモナビ」など、「チャットボット」に続くような周辺事業のサービス化・オプション化を強化してまいりました。

サービスラインについては選択と集中を図るため、「サブスクビューティ」のクローズドECの機能を「サブスクアット(サブスク@)」に組み込み、リアル店舗向けの営業体制を「サブスクアット」にシフトすることで、ターゲット市場の拡大を推進しつつ、サービスの収益化を促進しております。

当社の事業は、EC支援事業の単一セグメントのため、以下、サービス別の業績を示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

サービスの名称	前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		増減額	増減率 (%)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)			
a	サブスクストア	262,562	16.8	517,232	28.6	254,670	97.0
	たまごりレポート	787,675	50.4	586,740	32.4	△200,934	△25.5
	小計	1,050,237	67.2	1,103,972	61.0	53,735	5.1
b	決済手数料(サブスク後払い除く)	404,392	25.9	450,469	24.9	46,076	11.4
	サブスク後払い	930	0.1	148,201	8.2	147,270	15,829.6
	小計	405,323	25.9	598,670	33.1	193,347	47.7
c	その他	108,350	6.9	106,801	5.9	△1,549	△1.4
合計(a+b+c)		1,563,911	100.0	1,809,444	100.0	245,533	15.7

a. 「たまごりレポート」および「サブスクストア」のサービス利用アカウント総数は1,119件(前年同期比8.9%増)となり、売上高は1,103,972千円(前年同期比5.1%増)となりました。

「サブスクストア」のサービス利用アカウント数は424件(前年同期比71.0%増)となり、「テモナビ」や「チャットボット」などのオプション収益も伸長したことから、売上高は517,232千円(前年同期比97.0%増)となりました。

「たまごりレポート」は後継サービスである「サブスクストア」の販売に注力するため新規の販売を停止しており、サービス利用アカウント数695件(前年同期比10.9%減)となり、売上高は586,740千円(前年同期比25.5%減)となりました。

b. 当第3四半期累計期間における当社の提供するサービスの流通総額は、1,162億円(前年同期比4.9%増)と若干伸び悩んだものの、自社決済サービスである「サブスク後払い」の取扱高の増加により、決済手数料の売上高は598,670千円(前年同期比47.7%増)となりました。

c. 「サブスクアット」や「サブスクストアB2B」などのその他のサービスについては、「サブスクアット」に付随したwebページ制作の受注が増加したものの、「サブスクビューティ」の導入支援コンサルティングサービスの販売高が剥落したことなどから、売上高は106,801千円(前年同期比1.4%減)となりました。

以上の結果、売上高は1,809,444千円(前年同期比15.7%増)となりました。

売上原価は、自社決済サービスである「サブスク後払い」の売上増加に伴い原価も大きくなっていることから、694,808千円(前年同期比28.5%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、前第2四半期累計期間に計上していた子会社への研究開発委託費や株式報酬制度の設計に伴うコンサルティング費用、事業譲受に伴う手数料の発生がないことなどから、745,274千円(前年同期比19.5%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、営業利益369,361千円(前年同期比279.8%増)、経常利益369,295千円(前年同期比274.0%増)、四半期純利益229,229千円(前年同期比312.0%増)となりました。

※1 EC化率：BtoCの市場規模を分母、BtoC-EC市場規模を分子として算出した割合。

※2 てもなく：古くからの日本語である「てもなく(手も無く)」は、「簡単に、たやすく」という意味。当社の社名の由来であり、「ビジネスと暮らしを”てもなく”する」は、当社の経営理念でもあります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産に関する分析

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べて122,734千円増加し、2,156,796千円となりました。この主な要因は、売上高の増加により現金及び預金が134,889千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べて114,733千円減少し、857,679千円となりました。この主な要因は、借入金の返済により長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が109,967千円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて237,468千円増加し、1,299,116千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が229,229千円増加したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2021年2月12日の「非連結決算への移行及び2021年9月期個別業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社子会社であるテモラボ株式会社は、その重要性が低下したため連結の範囲から除外しておりましたが、2021年3月30日付で解散し、現在清算手続中であります。これによる業績予想への影響は軽微であると見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,241,983	1,376,873
売掛金	278,349	235,293
その他	94,341	90,245
貸倒引当金	△498	△421
流動資産合計	1,614,177	1,701,991
固定資産		
有形固定資産	50,594	46,223
無形固定資産	158,832	202,984
投資その他の資産	210,457	205,596
固定資産合計	419,884	454,804
資産合計	2,034,061	2,156,796
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,274	62,379
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	139,968	120,004
未払金	88,345	84,171
未払法人税等	34,312	102,871
前受金	129,562	112,032
その他	23,087	25,398
流動負債合計	633,550	606,857
固定負債		
長期借入金	336,650	246,647
株式給付引当金	1,281	3,275
ポイント引当金	931	900
固定負債合計	338,862	250,822
負債合計	972,413	857,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	379,790	384,471
資本剰余金	369,790	374,471
利益剰余金	888,574	1,117,804
自己株式	△583,704	△583,744
株主資本合計	1,054,449	1,293,002
新株予約権	7,198	6,114
純資産合計	1,061,648	1,299,116
負債純資産合計	2,034,061	2,156,796

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,809,444
売上原価	694,808
売上総利益	1,114,636
販売費及び一般管理費	745,274
営業利益	369,361
営業外収益	
受取利息	6
受取手数料	2,495
営業外収益合計	2,502
営業外費用	
支払利息	1,181
売上債権売却損	1,386
営業外費用合計	2,567
経常利益	369,295
特別損失	
投資有価証券評価損	2,715
関係会社株式評価損	4,451
特別損失合計	7,166
税引前四半期純利益	362,129
法人税等	132,899
四半期純利益	229,229

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項は有りません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項は有りません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した会計上の見積りにおける新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社は、EC支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。